

日管工業株式会社

環境活動レポート（2011年）

運用期間 2011年1月 ～ 2011年 12月
（平成23年 1月 ～ 平成 23年 12月）



発行日：2012年2月29日

1. 環 境 方 針

日管工業株式会社は、小さな力で大きな力を出す油圧ユニットの設計・製造活動全般に地球環境保全活動を取り入れ、地球に優しいものづくりの実現を目指します。

1. 当社の事業活動、製品及びサービスにおける環境影響を考慮し、エコアクション21ガイドラインに準拠した環境マネジメントシステムを構築・運用し「継続的改善と汚染の予防」に努めます。
2. 当社の環境側面に適用される法規制、条例および当社が受け入れたその他の要求事項を順守します。
3. 当社、コピー用紙使用量・電力消費量・水資源使用量・廃棄物排出量・化石燃料使用量の削減、グリーン購入、化学物質の適正管理を環境目標の軸に掲げ、実施し、レビューを行い、環境影響の改善を図ります。
4. 全従業員及び当社のために働く全ての人に環境方針の周知を行います。また、従業員一人ひとりが環境保全に努め、事業活動を行うために環境に関する教育や社内活動を実施します。
5. この環境方針及び環境レポートは公開し、一般の人々の要請に応じ提供します。

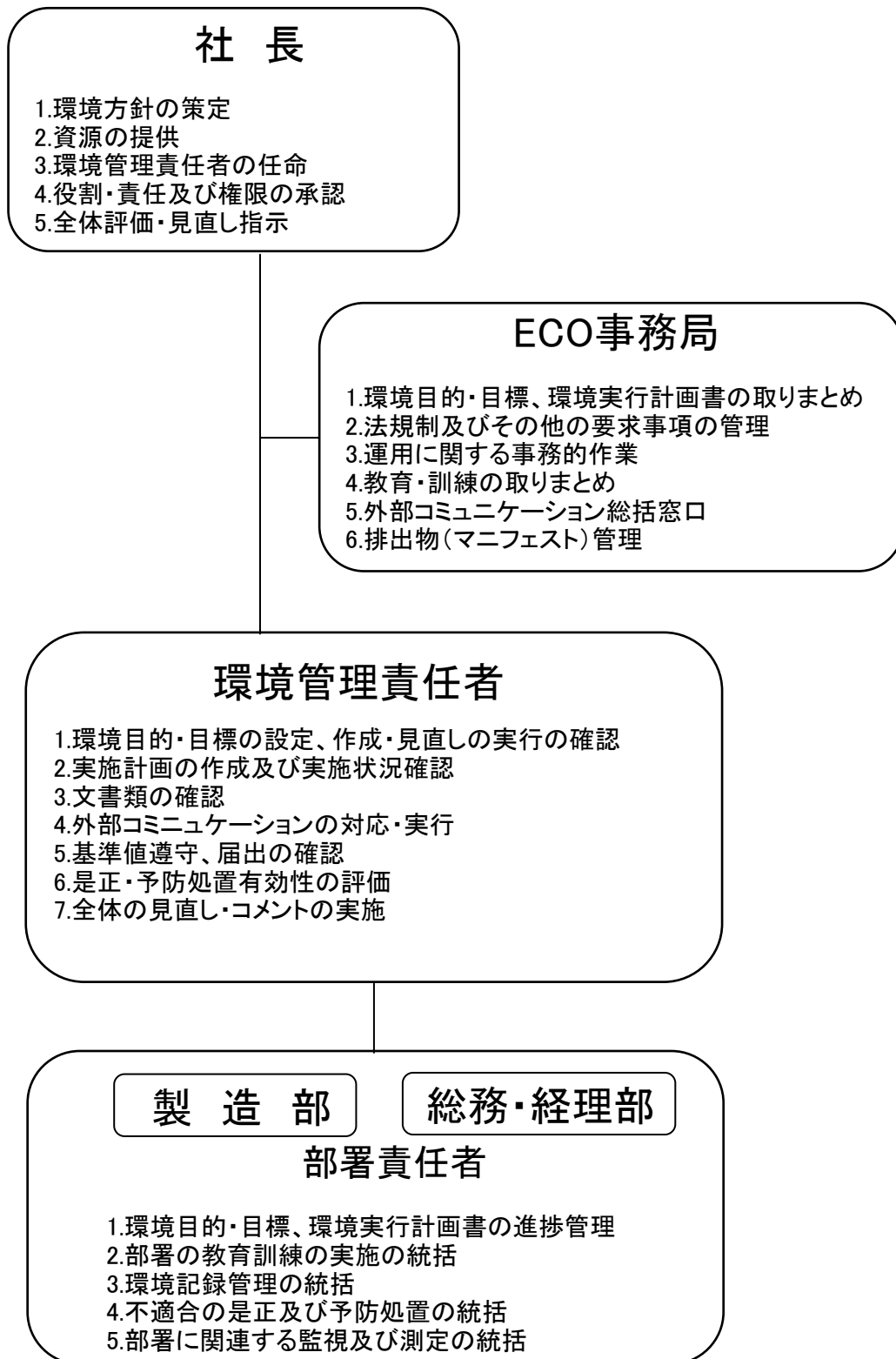
2009年6月15日

代表取締役 樋本 信義

2. 登録対象範囲と組織概要

- 事業所名 日管工業株式会社
- 代表者 代表取締役 樋本 信義
- 所在地
- 〈本社工場〉
〒463-0070 名古屋市守山区新守山3319番地
TEL:052-793-5288
FAX:052-794-3124
(床面積264㎡)
- 〈倉庫〉
〒463-0070 名古屋市守山区新守山1312番地
TEL:052-793-4580
(床面積120㎡)
- 〈駐車場〉
〒463-0070 名古屋市守山区新守山2113番地
(床面積21㎡)
- * 但し、駐車場に環境負荷はないので、取組項目はありません
- 登録対象範囲
- 事業内容
- ・油圧装置、給油装置の設計製作
 - ・付属する機器、部品の販売
 - ・油圧に関する試験装置並びに流体に関する装置の製作
 - ・装置の据付、配管工事及び保守管理
- 設立 1972年6月29日(創業 1970年)
- 資本金 1,000万円
- 売上 233百万円(40期 2010年7月～2011年6月)
- 従業員 10名
- 環境管理責任者 勝亦 崇
*連絡先 TEL:052-793-5288
- 担当者 深谷 佳未
*連絡先 TEL:052-793-5288
- レポート対象期間・発行日対象期間 :2011年1月 ～ 2011年 12月
発行日 :2012年2月29日

3. 組織と実施体制



4. 環境目標と中期目標

NO.	環境目標	単位	基準年度 (2007年7月～ 2008年6月)	2011年度		2012年度		2013年度		2014年度	
				削減率	目標値	削減率	目標値	削減率	目標値	削減率	目標値
1	紙使用量の削減	枚/年	10,700 枚/年	6 %	10,058	7 %	9,951	8 %	9,844	9 %	9,737
温室効果ガス削減	電気使用量(200v)削減	kWh/年	29,175 kWh/年	4 %	28,008	5 %	27,716	6 %	27,424	7 %	27,133
		(係数0.474kg-CO2/kwh)	kg-CO2								
	電気使用量(100v)削減	kWh/年	12,732 kWh/年	4 %	12,222	5 %	12,095	6 %	11,968	7 %	11,841
		(係数0.474kg-CO2/kwh)	kg-CO2								
	4	化石燃料使用削減	kg-CO2/年	20,130 kg-CO2/年	3 %	19,526	4 %	19,324	5 %	19,123	6 %
	二酸化炭素排出量合計	kg-CO2/年	40,287 kg-CO2/年	3 %	39,078	4 %	38,676	5 %	38,273	6 %	37,870
5	廃棄物排出量抑制	kg/年	7,835 kg/年	4 %	7,521	5 %	7,443	6 %	7,364	7 %	7,287
6	水資源使用削減	m ³ /年	328 m ³ /年	4 %	314	5 %	311	6 %	308	7 %	305
7	化学物質の適正管理	kg/年	1,023 Kg/半年×2	1 %	2,024	2 %	2,004	3 %	1,983	4 %	1,964
8	グリーン購入促進	品目	4品目 /半年×2		12		15		18		21
9	省エネ化推進	出荷台数 台/年	データ無し		12		15		18		21

※ 倉庫での使用及び排出は少量なので本社と合算する

※ 基準年度(2007年7月～2008年6月)とし、グリーン購入・化学物質は(2010年7月～12月)の実績値を基準とする

※ 電力の二酸化炭素換算係数は0.474kg-CO2/kwh(中部電力・平成21年度)とする

5. 取組結果とその評価

NO.	環境目標	単位	基準年度 (2007年7月～ 2008年6月)	2011年度				評価
				削減率	目標値	実績値	評価	
1	紙使用量の削減	枚/年	10,700 枚/年	6 %	10,058	15,000	×	* 目標未達成 用紙の再利用を徹底していったが、使用量は減らせなかった。仕事量により使用量が影響されるので、目標値の変更を検討したい。
温室効果ガス削減	電気使用量(200v)削減	kWh/年	29,175 kWh/年	4 %	28,008	19,901	○	* 目標達成 エアコンの使用を最小限にするなど積極的に活動できた。来期も節電を心がけて活動する。
		(係数0.474kg-CO2/kwh)	kg-CO2		14,033 kg-CO2	13,471		
	電気使用量(100v)削減	kWh/年	12,732 kWh/年	4 %	12,222	14,250	×	* 目標未達成 仕事量の増加により未達成となった。来期は電気使用の作業を見直し、節電を心がけて活動する。
		(係数0.474kg-CO2/kwh)	kg-CO2		6,124 kg-CO2	5,879		
	4	化石燃料使用削減	kg-CO2/年	20,130 kg-CO2/年	3 %	19,526	15,522	○
	二酸化炭素排出量合計	kg-CO2/年	40,287 kg-CO2/年	3 %	39,078	31,625	○	* 目標達成 合計で目標達成できました。
5	廃棄物排出量抑制	kg/年	7,835 kg/年	4 %	7,521	1,159	○	* 目標達成 4月に分別方法が変更されたが、削減することができた。来期も朝礼で呼びかけるなど継続的に活動する。
6	水資源使用削減	m ³ /年	328 m ³ /年	4 %	314	239	○	* 目標達成 水の再利用に徹底して節水することができた。来期も引き続き活動する。
7	化学物質の適正管理	kg/年	1,023 Kg/半年×2	1 %	2,024	2,201	×	* 目標未達成 1年間の使用量把握をすることができた。来期は無駄をなくすよう努力したい。
8	グリーン購入促進	品目	4品目 /半年×2		12	27	○	* 目標達成 意識的に対象商品を購入する事ができた。来期も継続して活動する。
9	省エネ化推進	出荷台数 台/年	データ無し		12	12	○	* 目標達成 一人一人の営業活動の成果がでた。来期も積極的提案をする。

※ 倉庫での使用及び排出は少量なので本社と合算する

※ 基準年度(2007年7月～2008年6月)とし、グリーン購入・化学物質は(2010年7月～12月)の実績値を基準とする

※ 電力の二酸化炭素換算係数は0.474kg-CO2/kwh(中部電力・平成21年度)とする

6. 環境活動計画と取組結果

NO.	環境目標	施策(行動事項)	実行期間	担当部署	担当者	取組結果	
1	紙使用量の削減	(1)裏紙(コピー用紙)の利用促進 (2)社内連絡事項を電子メール中心に変える (3)FAXのペーパーレス化	2011年 1月～ 12月	製造部	武田	△	
2	温室効果ガス削減	電気使用量(200v)の削減	(1)冷暖房を適正温度に設定する (2)冷暖房の開始時期、開始温度を決める (3)休み時間の設備電源強制消灯 (4)試運転の簡素化・効率化による時間短縮	2011年 1月～ 12月	製造部	西世古	○
3		電気使用量(100v)の削減	(1)休み時間は強制的に消灯する (2)不要な電灯を消す (3)待機電力の削除 (4)未使用時PCをシャットダウン	2011年 1月～ 12月	製造部	西世古	△
4		化石燃料の使用削減	(1)待機中のアイドルストップ (2)低速発進、急ブレーキ禁止の徹底 (3)灯油ストーブの使用を控える	2011年 1月～ 12月	製造部	水野	○
5		産業廃棄物排出量の抑制	(1)洗浄用シンナーの使用量の削減 (2)木枠・雑芥、汚泥、廃塗料排出量削減 (3)空き缶、ペットボトルは購入店にて廃棄 (4)使い捨てウエス使用の抑制	2011年 1月～ 12月	製造部	林	○
6	水資源使用の削減	(1)水中ポンプを使い水を再利用する (2)タイマーを利用して使用量管理する	2011年 1月～ 12月	製造部	武田	○	
7	化学物質の適正管理	(1)MSDSの取り寄せ (2)化学物質使用量の把握と削減	2011年 1月～ 12月	製造部	横井	△	
8	グリーン購入の促進	(1)できる限り対象商品を購入する (2)グリーン調達の働きかけ	2011年 1月～ 12月	製造部	水野	○	
9	省エネ化推進	(1)省エネ機器搭載の提案・出荷 (2)省エネ機器搭載ユニットの製作	2011年 1月～ 12月	製造部	武田	○	

評価基準 ○=出来ている △=不十分 ×=実行できていない

7. 次年度の取組内容

NO.	環境目標	施策(行動事項)	実行期間	担当部署	担当者	
1	紙使用量の削減	(1)裏紙(コピー用紙)の利用促進 (2)社内連絡事項を電子メール中心に変える (3)書類の電子化促進 (4)ミスコピー・ミスプリント防止	2012年 1月～ 12月	製造部	武田	
2	温室効果ガス削減	電気使用量(200v)の削減	(1)冷暖房を適正温度に設定する (2)冷暖房の開始時期、開始温度を決める (3)休み時間の設備電源強制消灯 (4)試運転の簡素化・効率化による時間短縮	2012年 1月～ 12月	製造部	西世古
3		電気使用量(100v)の削減	(1)休み時間・不要な電灯は消灯する (2)不要な電灯を消す (3)未使用時PCをシャットダウン (4)エアーツール・充電工具を多用する	2012年 1月～ 12月	製造部	西世古
4		化石燃料の使用削減	(1)待機中のアイドルングストップ (2)低速発進、急ブレーキ禁止の徹底 (3)エコドライブの励行	2012年 1月～ 12月	製造部	水野
5		産業廃棄物排出量の抑制	(1)洗浄用シンナーの使用量の削減 (2)木枠・雑芥、汚泥、廃塗料排出量削減 (3)使い捨てウエス使用の抑制 (4)ゴミ分別徹底	2012年 1月～ 12月	製造部	横井
6	水資源使用の削減	(1)水中ポンプを使い水を再利用する (2)タイマーを利用して使用量管理する (3)節水の呼びかけ	2012年 1月～ 12月	製造部	武田	
7	化学物質の適正管理	(1)MSDSの取り寄せ (2)化学物質使用量の把握と管理の徹底 (3)環境に配慮した製品の調査をし、導入する	2012年 1月～ 12月	製造部	横井	
8	グリーン購入の促進	(1)できる限り対象商品を購入する (2)グリーン調達への働きかけ	2012年 1月～ 12月	製造部	水野	
9	省エネ化推進	(1)省エネ機器搭載の提案・出荷 (2)省エネ機器搭載ユニットの製作	2012年 1月～ 12月	製造部	武田	

8. 環境関連法規等の遵守状況と結果

	法令名	条項	適用内容	該当項目	適否	違反の有無
リサイクル	廃棄物処理法	12条	保管基準	保管基準の確認	適	無
		12条	委託業者との契約 許可書の確認	業者の許可・指定内容の確認	適	無
		12条の3	マニフェストの交付及び報告	マニフェスト発行交付及び届出	適	無
		12条の3	マニフェストの管理及び保存	マニフェスト管理と保存	適	無
		改正法 12条7項	処理状況の確認	処理状況の現地確認	適	無
	家電リサイクル法	6条	廃棄家電引渡し義務	期間内該当なし	適	-
	資源有効利用促進法		使用済みパソコンの回収 リサイクル義務	サーバー機入替	適	無
化学物質	PART法		該当化学物質の排出量を把握	使用状況で確認 届出対象条件外	適	無
	高圧ガス保安法	36条	災害の発生の防止 危険時の措置	事故発生なし。勉強会参加	適	無
水質	水質汚濁防止法	14条の2	事故発生時、 応急の措置と届け出	事故発生なし。訓練の実施	適	無
	下水道法	12条の9	事故発生時、 応急の措置と届け出	事故発生なし。訓練の実施	適	無
大気	自動車NOx・PM法		ディーゼル車の PM(粒子状物質)の規制	車検の実施	適	無
近隣公害	騒音規制法	5条	規制基準の遵守	高速切断機が該当 使用状況で確認	適	無
共通	消防法	10条	危険物貯蔵所の点検 保管量の厳守	保管量の管理・点検	適	無
		17条の3	消防用設備等の点検と報告	消防署による 消火器検査実施済	適	無
	省エネ法	5条	エネルギー使用の判断基準遵守	使用状況の把握・記録	適	無
	労働安全衛生法	20条	労働災害の防止基準の確立	機械・器具の点検	適	無
条例	廃棄物の適正な処理の 促進に関する条例		処理状況の確認	処理業者の現地確認	適	無
	県民の生活環境の 保全等に関する条例		化学物質を適正に管理する	使用状況の確認	適	無
	市民の健康と安全を確保する 環境の保全に関する条例		公害防止及び 環境負荷の低減努力	使用状況の確認	適	無
顧客	ダイキン グリーン調達ガイドライン		環境負荷の小さい部材の調達 有害化学物質の削減	省エネ機器出荷の促進	適	無
努力義務	グリーン購入法		環境負荷の小さい製品の購入	対象商品を購入する	適	無

* 過去3年間に環境関連法規への違反はありません。また、関係機関からの指摘、訴訟等も同様にあります。

9. 代表者による全体の評価と見直し

* 環境管理責任者による見直し・コメント

	項目	確認	コメント
見直し 関連情報	1 環境目標及び目標達成状況	勝亦	紙・電気(100v)・化学物質にて目標未達成 目標値見直し・新たな取組の追加が必要です。
	2 環境活動計画及び取組実施状況	勝亦	特になし 引き続き全員が心がけ活動する
	3 環境関連法要求一覧及び遵守状況	勝亦	特になし 引き続き遵守していく
	4 外部コミュニケーション・対応記録	勝亦	特になし 引き続き苦情等ないよう心がける
	5 問題点の是正・予防措置の実施状況	勝亦	不適合報告書の提出 朝礼での注意喚起をして改善していきたい
	6 その他	勝亦	特になし 引き続き苦情等ないよう心がける

* 代表者による全体評価・見直し指示

評価	<p>日々、環境活動への取組み意識が向上してきたことは評価できますが、徐々に景気の回復が進み、またグローバル化の加速により、受注仕様、製作条件の高度な要求への対応が、掲げる目標の一部に、殊に紙、化学物質削減の足を引っ張ったと言えます。</p> <p>然しながら達成に向けての方策が取れなかったことに反省の余地はあり、課題かと考えます。次年度はこの反省をもとに、しっかりとした目標を再構築し、活動に取り組んでいきたいものです。</p>		
見直し 関連情報	見直し項目	変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境方針	無	
	2 環境目標	有	仕事量により影響される紙・電気・化学物質の 目標値を変更する。
	3 環境活動計画・取組項目	無	
	4 環境に関する組織	無	
	5 その他システム要素	無	
6 その他(外部への対応)	無		